

2023 年度 学校関係者評価報告

2024 年 3 月 31 日

学校法人南星学園

目次

1. 学校関係者評価委員の構成	3
2. 学校関係者評価委員による評価方法	3
3. 職員から挙げた意見に対する改善方策	4
(01) 教育理念・目標	4
課題 1. 教育理念等の情報が、日本人学生や留学生とその保護者に十分に周知されていないのではないか	4
(02) 学校運営	4
課題 1. 家賃補助や未使用の有給休暇の買取を検討してもらえないか	4
課題 2. オンラインで各種証明書交付申請を出来る様にして欲しい	4
課題 3. 出席管理システムを導入し業務の効率化を図って欲しい	4
課題 4. 指示により始業時間より早く出勤した場合は時間外労働として認めて欲しい	5
(03) 教育活動	5
課題 1. 教員や職員不足を改善して欲しい	5
課題 2. 先端的な知識・技術や指導力などの資質向上のための研修を取り入れて欲しい	5
課題 3. 学生から授業評価についてアンケートを実施してはどうか	5
(04) 学修成果	6
課題 1. 卒業後の動向把握を検討した方がいい	6
(05) 学生支援	6
課題 1. 留学生において、通院中や服薬中の人は、入学後にケアが必要となる場合もあるので、入学許可については慎重にすべきではないか	6
課題 2. 授業に追われているため、進学・就職・課外活動に対する支援が十分にできてい	

ない	6
課題 3.	退学率や就職率に学科により偏りがあり、学校として対応が必要ではないか..... 6
(06) 教育環境	7
課題 1.	AED の設置を検討して欲しい 7
課題 2.	教室に防音対策を施して欲しい 7
課題 3.	築年数による老朽化が進んでいる箇所を修繕して欲しい 7
(07) 学生の受け入れ募集	7
課題 1.	建築デザイン科に入学選考基準を設けたらどうか 7
課題 2.	資格受験料やソフトライセンス料の値上げに伴う学費の値上げを検討して欲しい 8
課題 3.	学科の定員を検討する必要はないか 8
(08) 財務	8
課題 1.	新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、財政基盤に不安を感じていま す 8
(09) 法令等の遵守	8
課題 1.	自己評価や学校関係者評価を実施・公開し、改善に取り組んでいるが、まだ十分 とはは言えない..... 8
(10) 社会貢献・地域貢献	9
課題 1.	授業内でボランティアを実施できないか..... 9
課題 2.	ボランティア活動に対して十分に支援できていない..... 9
課題 3.	積極的にボランティアをした学生に特別活動賞を提案したい 9
(11) 国際交流	9
課題 1.	留学生専属の職員を増やして欲しい 9
4. 学校関係者評価委員の評価及び意見	10
5. 総括	14

はじめに

2023年度に学校全職員が参加して行った自己評価の結果と、それに基づく改善方策を報告します。自己評価では、職員から81件の意見が寄せられました。これらの意見を整理し、同じ内容のものをまとめて24件に要約しました。それぞれの要約された意見に対して具体的な改善方策を立案しました。以下、4名の学校関係者評価委員から頂いた評価と意見についても共有いたします

1. 学校関係者評価委員の構成

本校の設置学科に関連する業界から選ばれた学校関係評価委員は、IT関連企業から1名、建設関連企業から1名、科学関連企業から1名、そして卒業生から1名で構成されています。

2. 学校関係者評価委員による評価方法

自己評価の達成状況と職員から寄せられた意見に対する改善策について、4段階の評価を受けました。学校関係者評価委員から頂いた評価と意見を参考に、次年度の自己評価と改善方策の実施を進めます。

<改善方策案に対する学校関係者評価>

A・・・適切

B・・・ほぼ適切

C・・・やや不適切

D・・・不適切

3. 職員から挙げた意見に対する改善方策

(01) 教育理念・目標

課題1. 教育理念等の情報が、日本人学生や留学生とその保護者に十分に周知されていないのではないか
改善方策
学校の理念や目的を学生に周知させるために、学期の始まりにオリエンテーションなどで学則の読み合わせを徹底的に行います。保護者に対しては、入学願書の記入欄に記載されたメールアドレスに、学則や本学園のホームページの URL を含む必要な情報を送信してください。

(02) 学校運営

課題1. 家賃補助や未使用の有給休暇の買取を検討してもらえないか
改善方策
昨今、物価高騰やエネルギー価格の高騰により家庭の支出が苦しくなっています。またどの業界でも人材確保が大変困難な状況になっています。住宅手当や未使用の有給休暇の買取について今後も評議委員会や理事会で議論していきます。

課題2. オンラインで各種証明書交付申請を出来る様にして欲しい
改善方策
次年度からは、各種証明書の申請をオンラインで行い、手数料の支払いを電子決済で可能にします。

課題3. 出席管理システムを導入し業務の効率化を図って欲しい
改善方策
出席管理システムの導入については検討しますが、導入には時間とコストがかかりますので、その点をご理解下さい。

課題4. 指示により始業時間より早く出勤した場合は時間外労働として認めて欲しい
改善方策
業務指示により始業時間より早く出勤した場合は、労働基準法に基づき時間外労働として認めます。

(03) 教育活動

課題1. 教員や職員不足を改善して欲しい
改善方策
昨年からハローワークや日本語村で、情報システム科教員、事務員、および日本語科教員の求人を掲載しています。基本給や雇用形態を見直したにもかかわらず、応募者がいません。引き続き人材を確保する努力を行っています。その間、負担がかかることは理解しておりますが、全職員が一丸となって業務に取り組む必要があります。

課題2. 先端的な知識・技術や指導力などの資質向上のための研修を取り入れて欲しい
改善方策
研修は単発で終わるものではなく、長期的な視点で取り組む必要があります。目的を明確にし、何を学び、何を実現したいのかをはっきりと定めることで、研修の成果を明確にすることができます。シラバスと結びつけ、どの科目の先端的な知識・技術に関する研修が必要なのか教職員から意見を挙げてもらい、研修に参加できるように努めます。

課題3. 学生から授業評価についてアンケートを実施してはどうか
改善方策
昨年度の自己評価の意見に基づき、今年度から学期ごとに学生からの授業評価が実施されています。授業評価の結果がまだ共有できていない点を反省し、全職員と共有するとともに、情報を公開したいと思います。

(04) 学修成果

課題1. 卒業後の動向把握を検討した方がいい
改善方策
卒業後の動向を把握する目的の一つに、在学中に習得した事が仕事にどのようにいかされているか、またキャリア形成に有益に働いているのかを把握し、シラバスの改善に資することです。卒業生の動向把握をどの程度まで行うのかについて、シラバスを作成する学科担任から意見を挙げてもらい方向性を定めていきます。

(05) 学生支援

課題1. 留学生において、通院中や服薬中の人は、入学後にケアが必要となる場合もあるので、入学許可については慎重にすべきではないか
改善方策
選考試験を受験できるのは、JLPT N5 相当の資格を取得している人で、選考基準は N5 相当の文字の認識能力と会話力としています。通院中や服薬中の人を合格基準に含めるためには、病気の種類や服薬について明確な基準を設ける必要があります。その基準について、職員からの意見を聴取したいと思います。

課題2. 授業に追われているため、進学・就職・課外活動に対する支援が十分にできていない
改善方策
担当する講義の時間数を見直します。しかし、人材の確保に苦労しているため、十分な支援が可能な程度に人材を確保できるまで、可能な範囲での支援をお願いします。

課題3. 退学率や就職率に学科により偏りがあり、学校として対応が必要ではないか
改善方策
学科ごとの偏りがある退学率や就職率という問題は認識しております。そのため、退学の理由や昨今の雇用状況を考慮に入れ、就職先が決まらない学生の問題点を正確に把握し、適切な対策を講じることが必要と考えております。退学率や就職率の改善のために、次年度は最適なタイミングで保護者を含めた3者面談の実施を検討しております。

(06) 教育環境

課題1. AED の設置を検討して欲しい

改善方策

サイテクカレッジ美浜、サイテクカレッジ美浜普天間校舎、そしてサイテクカレッジ那覇の3つの場所でAEDの設置を検討します。設置に際しては、各職員の代表者に対してAEDの使用法についての講習会への参加をお願いする予定です。

課題2. 教室に防音対策を施して欲しい

改善方策

本格的な防音工事は時間と費用がかかるため、防音パネルによる防音対策を検討します。

課題3. 築年数による老朽化が進んでいる箇所を修繕して欲しい

改善方策

サイテクカレッジ美浜は今年度で28年目、サイテクカレッジ那覇の校舎は23年目となり、建築物や設備の老朽化が課題となっています。改善計画を策定し、2021年度にはサイテクカレッジ美浜のエレベーター設備をリニューアルしました。また、業務に支障をきたす冷暖房設備の故障や水回りの漏水についても、改善計画にとらわれず早急に対応しています。早急に修繕が必要な箇所については、検討します。

(07) 学生の受け入れ募集

課題1. 建築デザイン科に入学選考基準を設けたらどうか

改善方策

建築デザイン科の入学選考は、書類選考と面談となっています。一昨年から面談を導入し、該当者には面談の結果を踏まえて合格通知書を発行しています。ミスマッチによる退学者を防ぐために、早い段階から学生や保護者とのコミュニケーションを取るよう努力してください。

課題2. 資格受験料やソフトライセンス料の値上げに伴う学費の値上げを検討して欲しい
改善方策
資格受験料やソフトウェアライセンス料は、学費ではなく、その他必要経費からの支出となります。各学科の担任は、目的に応じてその他必要経費を設定することが可能です。その他必要経費を変更する際には、予算書を稟議書として提出してください。

課題3. 学科の定員を検討する必要があるか
改善方策
定員を減らすことで充足率は向上しますが、各学科が健全に運営されるためには、最低在籍者数を意識する必要があります。次年度には、充足率を高めるための新たな取り組みを実施する予定です。

(08) 財務

課題1. 新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、財政基盤に不安を感じています
改善方策
新型コロナウイルスが世界的に猛威を振った影響は落ち着き、今年度は日本語科に定員を超える数の入学者が戻ってきました。財政を安定化するためには、情報システム科だけでなく、全ての設置学科において出願者数を増やすための就職や資格取得実績の向上と積極的な広報活動が重要な課題となります。

(09) 法令等の遵守

課題1. 自己評価や学校関係者評価を実施・公開し、改善に取り組んでいるが、まだ十分とは言えない
改善方策
改善方策を実行するためには、職員、自己評価委員会、評議員会、理事会の協力が不可欠です。各改善方策の内容に応じて責任を分担し、迅速に問題を解決するように努力します。

(10) 社会貢献・地域貢献

課題1. 授業内でボランティアを実施できないか
改善方策
シラバス（授業計画）が定められているため、授業内での活動は原則として認められません。授業内でボランティア活動を行うためには、ボランティアを科目として設定し、他の科目と同様に成績評価を行う方法が考えられます。また、ボランティア活動を年間行事として組み込む方法もあります。

課題2. ボランティア活動に対して十分に支援できていない
改善方策
学生が積極的にボランティア活動に参加するための支援策について、全職員からの意見を募集したいと考えています。可能な支援策については、次年度から積極的に取り組みたいと思います。

課題3. 積極的にボランティアをした学生に特別活動賞を提案したい
改善方策
ボランティア活動への支援策として、次年度から特別活動賞の設置を検討しています。特別活動賞の評価基準については、職員からのご意見を募集したいと考えております。

(11) 国際交流

課題1. 留学生専属の職員を増やして欲しい
改善方策
昨年からハローワークに事務員の求人を掲載していますが、まだ応募者が現れていません。新たな事務員が採用されるまでの間、負担は増えますが、職員同士で協力し合い、業務を進める必要があります。

4. 学校関係者評価委員の評価及び意見

大項目	委員 A	委員 B	委員 C	委員 D	意見
(01) 教育理念・目標	B	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育理念等の多言語対応は必要だと思う。 ● 教育理念や目標の周知の落とし込みはなかなか難しい。そのため、単発的な周知ではなく、定期的かつ継続的に周知活動を行うことが求められる。また、在校生や保護者だけではなく、対外的にも積極的に周知を図るべき。理念や目標が世の中に浸透すれば入学希望者の増加・中途退学者の減少に繋がる。
(02) 学校運営	A	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ● 証明書交付の簡素化は有効だと思う反面、事務の皆様の負担をどう軽減していくか、費用をどう抑えるかをもう少し話し合っているとよい。 ● 課題1：有給休暇の買取については、制限等があることを注釈しておいた方が余計な誤解が生じないと思う。課題3：システム導入に関しては、IT 導入補助金も活用できませんか？補助金が活用できればコスト低減に寄与できると考えられます。

(03) 教育活動	A	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ● どの業界でも人手不足が深刻だと感じた。 ● 課題1：よい人材の獲得は組織の成長に繋がります。そのため、長期的な視点で採用にもある程度コストをかけるべきだと思う。(日本村はあまり存じ上げませんが) 人手不足が顕著な現代では、ハローワークの求人募集だけだと限界がある。有料の求人サイトを活用すればある程度効果が見込める。
(04) 学修成果	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ● 資格取得の積極性、インターンシップや就職先の開拓が進んでいるようで素晴らしいです！ ● 職員の皆さんの意見を聞きながら方向性を定めることは重要。
(05) 学生支援	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ● 留学生の病院対応は本当に大変だと思う。持病や常備薬は入学前にヒアリングする方法はよいと思います。

(06) 教育環境	A	C	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ● 全ての意見に関してどうしても費用がかかるので簡単には解決できないと思いますが対応ができる意見から徐々に解決できるように望みます。 ● AED の設置はよいと思います。 ● 課題1：日本赤十字社で、AED使用方法の出前講座を開催していたと思います（学校まで来てくれるはず）。AED設置後は、全職員を対象に講習を実施することが重要だと思います。
(07) 学生の受け入れ募集	A	A	A	A	
(08) 財務	A	A	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ● 学費等が増えましたが、昨今の情勢では適切だと思います。 ● 情報公開されている財務諸表等を情報共有するとともに、経営状態を表す指標（経常利益率、自己資本比率、流動比率等）も示すことで現在の経営状況を定量的に把握することができるので、職員の皆さんの不安解消にも繋がるとと思います。

(09) 法令等の遵守	A	A	A	A	
(10) 社会貢献・地域貢献	A	A	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域清掃は今後ともぜひ続けてほしいです。 ● ごみ拾いやビーチクリーンなどのボランティア活動はどこでも行っています。そのため、サイテクカレッジ那覇・美浜でしかできないボランティアをやることで話題性が高くなると思います。例えば、外来種駆除のボランティアなど、沖縄環境科学研究所と連携して、他ではできないボランティア活動を実施すれば話題性があると思います。
(11) 国際交流	B	A	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ● 台湾からの留学生が増えているのは喜ばしいです。人数が増えると受け入れ態勢が大変にはなりますが、今後も続けてほしいです。 ● よい人材の獲得は組織の成長に繋がります。そのため、長期的な視点で採用にもある程度コストをかけるべきだと思う。人手不足が顕著な現代では、ハローワークの求人募集だけだと限界がある。有料の求人サイトを活用すればある程度効果が見込める。

5. 総括

(04) 学修成果、(05) 学生支援、(07) 学生の受け入れ募集、(09) 法令等の遵守に関し、4名の学校関係者評価委員からA評価をいただきました。

資格取得の積極性、インターンシップや就職先の開拓が進んでいるようで素晴らしい、留学生において持病や常備薬は入学前にヒアリングする方法は良いなどの意見を頂きました。

(08) 財務、(10) 社会貢献・地域貢献に関し、A評価が3名、B評価が1名で、改善方策に対して概ね良い評価を得ました。

財務諸表の情報共有と経営指標の提示により、経営状況を定量的に理解し、職員の不安を解消するというアドバイスを頂きました。地域清掃のボランティア活動を継続すること、またサイテクカレッジならではのボランティア活動をしたらどうかなどの意見が挙がっていました。

(11) 国際交流については、A評価が2名、B評価が2名でした。

求人募集に有料の求人サイトを活用すればある程度効果が見込めるなどのアドバイスを頂きました。

(01) 教育理念・目標、(02) 学校運営、(03) 教育活動に関し、A評価が1名、B評価が3名でした。

(01) 教育理念・目標において、教育理念等の周知徹底の重要性や多言語対応を求める意見がありました。(02) 学校運営において、有給休暇の買取やIT導入補助金の活用についてアドバイスを頂きました。(03) 教育活動において、有料の求人サイトの活用の提案がありました。

(06) 教育環境について、A評価が1名、B評価が1名、C評価が2名でした。昨年度と同項目では、A評価が2名、B評価が2名でした。したがって、この項目は評価が最も下がった項目となりました。特に、AEDに関する意見が2件挙がりました。AEDの設置や使用方法についての講習会を実施し、教室の防音対策を改善することで、より良い教育環境を提供できるように努めます。